

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 1 月 2 6 日

事業所名 アスラボはるえ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点や課題、改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		外玄関にスロープがあり、室内についても玄関先以外は段差等がなくバリアフリーになっています。 外の階段や入り口床面は滑りやすい為、安全対策を行います。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			職員が参画できるように朝終礼時や定例会日に業務改善等の議題を設定しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者様のご意見等を伝えやすいように、ご意見箱等の設置を検討いたします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			毎年度、弊社ホームページ及びHUGの活動記録にて報告させて頂いています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	必要に応じて第三者委員会を設け業務改善を図ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			週1回の定例研修や外部研修に参加し受講した研修についての報告を行い職員間の情報共有及び資質向上に努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			児発管が参加している支援会議や面談の情報を基に、客観的に分析を行い、スモールステップでの通所支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			個別支援計画書に基づき支援担当者会議にて活動内容の検討を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			利用者様の状況に合わせたプログラムを提供できるよう、職員間で協議、見直しをし、固定化しないように工夫をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		利用者様と取り組みたい活動等を相談し、状況に応じた活動の設定、実施を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			ニーズや現在の課題に合わせて通所支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日の朝礼時に、当日の支援内容や役割分担を確認しています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の終礼時に、その日の支援内容について振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		職員間で正しく記録を取る方法を話し合い実施しています。また、その記録と共に支援の検証や改善を徹底しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		職員や記録からの情報を基に通所支援計画の評価を行い見直しの必要性を判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		年に数回のイベントの開催や余暇の提供、基本的な活動を組み合わせ、多角的な支援が提供できるように努めています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		原則として児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		○	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	必要に応じて情報を得ています。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在は対象となる利用者様がいませんが、必要に応じて関係機関との連携を行っています。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	地域交流の機会を確保できるよう検討していきます。
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		市町からの案内に沿って、定期的に協議会等への参加を行っています。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やHUGマイページを利用し、保護者様と職員間で情報共有を行っています。また、必要に応じて面談の機会を設けています。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		面談等を通し、助言支援を行っています。

保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		新規利用契約時や変更時に説明を行っています。	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時やHUGマイページ、面談の設定等を行い、相談に応じ適切な支援が出来るよう努めています。	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	保護者会は現在開催出来ておりません。今後、保護者会の開催を検討いたします。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情窓口を設置し、契約時に保護者様に説明を行っています。現時点で窓口への問い合わせはありませんが、苦情箱など伝えやすい方法を検討、実施していきます。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			HUGの活動記録等を通して情報を発信しています。
	34	個人情報に十分注意している	○			全職員、細心の注意を払っています。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	現時点で招待可能な行事の開催等は実施していません。町内会への参加については今後検討いたします。
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			玄関入り口及び書庫等に各種マニュアルを設置し、保護者様や職員がいつでも閲覧できるようにしています。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に避難訓練を実施しています。それに加え、職員間で避難経路の確認や周知を行っています。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止の為の研修に参加し、職員間で研修を行い適切な対応を実施しています。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時に説明を行っています。また、通所支援計画へ記載を行い適宜説明と同意を得ています。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者様からの情報でアレルギーの有無を確認し、アセスメント票への記載及び職員への周知を行っています。
42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット事例を作成し、事業所内での共有を行い未然防止等に努めています。	